

♪「清瀬アコーディオンサークル クリスマスコンサート」ぶらり訪問記♪

日時 12月23日(水・祝)
会場 清瀬平和と労働会館
交通 西武池袋線「清瀬駅」南口より徒歩5分、
参加費 300円

冬至の時期にしてはぽかぽか陽気に恵まれた午後のひと時、来年には30回を迎えるという「清瀬アコーディオンサークル」のクリスマスコンサートにお邪魔してみました。

清瀬駅南口より小金井街道まで行ったところで、踏み切り前の八百屋さんで道を尋ねるとすぐ裏手の通りでした。こじんまりしたプレハブの平屋でしたが、中は30人ほどのお客さんと超満員でした。

プログラムは、途中休憩を挟み二部に分かれていて全体が歌の伴奏といった気軽なコンサートでした。



指遊びを交え、「いつでもどこでもアコーディオン」「皆で楽しめるのがアコーディオン」、こんな

司会の挨拶で始まりました。

オープニングの「きよしこの夜」からお客さんも歌に参加していました。しばらくは「浜千鳥」「冬の星座」「斉太郎節」「ソーラン節」など民謡も入れて、独奏での歌伴奏が続きました。(写真は民謡を弾く森田さん)



休憩時間には写真のように豪華なお茶菓子と飲み物が振舞われ、手製のプレゼントまでついて、お客さんは大喜びです。

二部は、司会の“食べながら、飲みながら、ざっくばらんにいきましょう”の言葉に会場が一段と和やかになりました。



飛び入りコーナーでは、教室の講師、花岡米盛氏がトップバッターで登場「アムール河の波」を演奏。写真は講師(右側)と、生徒の大山さん(左側)とで息の合った演奏「ドナウ



川のさざなみ」の様子。続いて登場

した方は、途中、戦争などで中断した時期はあったが50歳からまた始めたとおっしゃる90歳になる小林さんでした。写真は、幸せの秘訣は？との問いかけに「勿論、アコーディオンを続けること」と笑顔で答える小林さん。演奏は「百万本のバラ」、アンコールに答えて「リンゴの唄」を暗譜でさっと弾くところはさすがです。



下の写真は、歌唱指導で大活躍の小林さん。「南国のバラ」など演奏もしました。

コンサート全体はゆったりしたテンポだけど、落ち着いた演奏で歌の伴奏にもなれているようでした。お客さんも満足した様子で、来年の再会を誓い名残惜しそうに会場を後にしていました。講師の花岡先生は、全体では30名程生徒がいますが、独奏でしっかり聴かせる指導もしていきたいとおっしゃっていました。(記:乙津)



